

今月の聖句 2008年 5月

## 『あなたの父と母を敬え』

(出エジプト記 20章12節)

「あなたの父と母を敬え」これは旧約聖書に記されている「モーセの十戒・第五戒」のみ言葉です。父とは、母とは。それは私を生んで、育ててくれた人です。よくよく考えてみますと、父と母は、私自身が「この人がいい」と選んだ人ではありません。私の意志とは関係なしに、親として神さまが与えて下さった人です。

反対に、父と母にとってみても、私を生んだその結果、親になったわけで、それも「私たちの子どもはこの子がいい」と、二人の意志で、私を選んだわけではありません。私という一つの生命の誕生を考えてみましても、それは、神の意志としか言いようのない大きな、不思議な力です。つまり、神の恵みによって、父と母は私の親となり、私は父と母の子どもになったのです。

新約聖書(コロサイ書3章20節)には「子供たち、どんなことについても両親に従いなさい」と記されており、その理由として「それは主に喜ばれることです」という説明が続いています。つまり、キリスト教の信仰では「父母を敬う」ということは、同時に、生命の造り主である神さまを、喜ばせることになるのです。

イエスさまは、子どもたちを呼び寄せ、「この子どものようにならなければ、神の国に入ることはできない」と言われました。子どものようにになりなさい、というイエスさまからのこの呼びかけ。実は、大人である私たちに向かってのメッセージなのです。「私たちは、みんな、神さまの子どもである」ということに気づくこと。それこそが、キリスト教の福音なのです。

1908年5月10日、アメリカの教会で、長い間、日曜学校の教師をしていたジャービスさんの記念礼拝(仏教でいう法事です)が捧げられました。当日、村の小さな教会に集まった教え子たちは470名であったという記録が残っています。礼拝堂の入り口でジャービスさんの娘であるアンナさんが、お母さんの大好きだった赤いカーネーションを参列者全員に手渡し、そして最後に、お母さんのために、白いカーネーションを祭壇に献花したのです。それが、最初の母の日の出来事でした。

【 今年は2008年。母の日が始まって、ちょうど100年になりますね。】

キリストの平和

(チャプレン 日本聖公会 司祭 藤井 尚人)